

新春アルバム・プレイバック2024

未来への鼓動

令和6年も町内ではさまざまな行事が行われました。
ここでは、主な話題を振り返ります。

本町西徳田と盛岡市黒川をつなぐ徳田橋が3月23日、開通しました。県事業として平成23年から行われてきたもので、今回の橋の完成で車道の拡幅などが図られ、生活道路としての利便性向上、救急搬送路として円滑な医療活動支援としての機能が発揮され「命の道」として県民の命をつないでいます。



北上川に架かる
二代目徳田橋が開通



岩手日野自動車本社
間野々に完成

岩手日野自動車(株)本社・工場・盛岡営業所の竣工式が5月21日、間野々の現地で行われました。令和4年から工事が進められてきた同社移転事業で、町が進めている市街化調整区域における企業誘致事業第1弾となりました。

さまざまな分野で活躍している方に、町の宣伝などに協力いただく「町応援アンバサダー」に、演歌歌手として活躍中の大江裕さん、レゲエアーティストとして世界を舞台に活躍するZENDAMANさんがそれぞれ就任しました。

2人は町秋まつりにも出演。それぞれのステージライブに加えて、2日目のメインイベントで5年ぶりの実施となった餅まきにも参加し、会場を大いに沸かせました。



【共演】大江裕さん
ZENDAMANさん



さんなりや市
矢幅駅前を会場に初開催

実行委員会主催による初のイベント「さんなりや市」が6月15日、16日、やはばーくそばのせせらぎ通りを主会場に行われました。民間主導で町のにぎわい創出などを目的に開催され、町商工会青年部恒例の「ちゃぶ台がえし世界大会!？」や人力車・さんさ踊りのパレードなどを実施。町内外から多くの来場者があり、町の新たな行事を楽しみました。

新春特別企画



今年(巳年)は、かつて巳年の矢巾町で起こった出来事を集めてみました。

昭和40年(1965年)



矢巾村 10周年記念式典

昭和30年3月1日に3村合併により誕生した矢巾村が10周年を迎えました。今年が合併70周年の年となります。

昭和52年(1977年)



矢幅駅・新駅舎完成

明治31年9月に開業した矢幅駅の新駅舎が、3月15日に落成しました。※現在の駅舎は平成20年3月に完成

昭和64・平成元年(1989年)



不来方高校・落成記念式典

昭和63年度に開校した不来方高校の各種施設が完成し、平成元年5月に校舎落成記念式典が行われました。

平成13年(2001年)



みちのく療育園が開園

現在の「みちのく療育園メディアカルセンター」で、心身に重度の障害を持つ方に専門的な治療や教育を行う施設として誕生。

平成25年(2013年)



8・9大雨災害

「これまでに経験したことがない大雨」が本町を襲い、増水した岩崎川の越流により、多くの住宅や道路、農地、観光施設が甚大な被害を受けました。